

GREEN RADAR

Vol.505
2021

6

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・生産振興部 生産振興課の取組み
- ・生産販売部 販売流通企画課の取組み
- ・生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み



自己改革工程の進捗状況について 4～6

A-Reports

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| ・京都食肉市場（株）にて「第33回信州和牛枝肉共励会」開催 7 | ・古往今来 11 |
| ・県スポーツ協会にコシヒカリなどを寄贈 8 | ・今月のおすすめレシピ 12 |
| ・サッカー大会で長野米をPR 8 | ・JA全農長野の事業現況 12 |
| ・野菜出荷スタートキャンペーン「信州やさいめし」実施中 9 | ・6月のラジオ番組表 12 |
| ・新採用職員紹介 10 | ・編集後記 12 |



生産振興部

生産振興部
生産振興課の取組み

JA全農長野生産振興部は、これまで「野菜・果樹に特化した生産振興」「災害に強い施設化」「スマート農業の普及推進」「優良種苗の安定供給」「営農指導員の支援」「GAP基準の準拠による安全安心な農産物の生産体制」「技術情報誌発行」など、生産現場を軸に事業展開を行ってきました。今年度は昨年の試験調査・実証の成果を踏まえながら、新たな農業振興事業へもチャレンジしてまいります。

■生産振興

昨年までミニトマトと業務用きゅうりにおける複数の試験検証を繰り返し、栽培面積・収量増に取り組んでまいりました。これらに加え、本年度は「ピーマン」の生産振興を行います。長野県産ピーマンの課題は、反収が低いことと他県主産地の玉サイズと比較すると小振りであることです。仕立て方、かん水対策を含む栽培技術の検証、試験栽培による品種の選定を行い、既存生

産者の手取り向上と新規取り組みに向けた情報提供により、生産出荷量の拡大を目指してまいります。

■災害等に強い施設化の推進

生産安定と収量増を目指すためには、「施設化」が有効な手段となります。しかし、施設化には大きな投資費用がかかり、また災害に負けない強度が求められます。昨年度は、リンゴの高密度植わい化栽培向けに適正な強度を備えたコンクリート製トレリスを設置しました。本年度は、コンクリート製トレリスと鋼管トレリスを使用する



ことにより、強度に加え、コストの検証を進め、普及しやすい施設化を推進します。

■スマート農業の実証・分析と普及に向けた提案

AーヤーのTなど最先端技術の開発・商品紹介等の情報・事例は、日々多数発信されています。国も先端技術駆使した新しい農業スタイルを提唱しています。しかしながら、生産現場への最先端技術導入は、本県の栽培環境や状況・ニーズを考慮した選択が必要となります。他部署機関とも連携し、実演や研修会等とおして、実用化の検討を進めます。とりわけ本年度においても、農業用ドローンを中心にデモフライトやいくつかの試験を行う中で、実用性の周知を図ります。また、生産現場の情報管理の効率化を狙



い営農支援システム活用を検討を行います。

■優良種苗の安定生産推進

所管する野菜種苗センターでは、優良種苗の安定生産体制の強化にも取り組んでいます。また、リンゴ苗木供給では、JA出資法人に委託し、フェザー苗等の生産拡大を図っており、本年度は6万本のフェザー苗の生産供給を目指しております。

■安全安心な農産物の安定的な生産・供給体制の推進

JA長野県グループでは安全・安心な農産物供給を行うため、農林水産省のGAP共通基礎ガイドラインに完全準拠した、新「長野県GAP基準」、新「長野県適正農業規範」等にグループをあげて取り組んでいます。また、SDGs（持続可能な開発目標）に代表される情勢変化の中で、第三者認証GAPを産地に求める流れも加速しており、取得を目指す産地の支援も行っております。

生産振興部は、今後も「持続可能な長野県農業を」目指し、農業生産現場に積極的に出向き、JAと共に取り組みを進めてまいります。

販売流通
企画課

生産販売部 販売流通企画課の取組み

JA全農長野 生産販売部 販売流通

企画課は、系統共販体制の強化に向けた系統事業の利用推進に取り組みます。輸送問題に対しては、物流改善に向けて産地業務の見直しを行い、長野県における遠隔地輸送モデルの策定を進めます。

また、本県農産物の安全性を訴求し、購入機会を高めることを目的にした農産物品目総合消費宣伝事業を展開し、

認知度向上に取り組みます。

2021年度重点目標の達成に向けた販売流通企画課の重点方針は次のとおりです。

1. 大規模農家、農業生産法人への系統利用の推進に取り組みます

JA事業の未利用または低利用率の農業法人や大型生産者に向けて、販売提案を伴う系統事業利用の推進を行います。

また、水田農業高収益化推進による園芸品目導入提案を、生産振興部、生産購買部と連携して取り組み、園芸品目の生産基盤強化を図ります。

2. 青果物・花き輸送の効率的な物流体制への改善を進めます

長時間を要する遠隔地輸送の安定と継続性を保つため、モータルシフトと拠点市場のハブ機能を活用した長野県モデルの策定に取り組みます。あわせて、地域間の共同配送とパレット導入

を提案し、集出荷場と輸送における荷役改善を進めます。

3. デジタル化による出荷販売業務の効率化を進めます

業務過程を見直して業務の標準化による効率化に取り組み、コスト削減と業務にスピードアップが図れるシステム化を進めます。一度入力したデータが連続活用できるシステム化により、データの活用範囲の拡大を目指します。

4. 農産物品目総合消費宣伝の効果的な展開



「JA全農長野」「三ツ山マーク」、「信州力（しんしゅりき）」の商標を活用し、本県産農産物のイメージと、



系統結集力の高揚を目標にした事業を展開します。

また、系統生産販売事業の持続的発展に向けて、食育や花育事業に取り組みます。



5. 園芸事業にかかる職員研修の開催

本県系統組織設立経過を若手職員に的確に継承し、発展的な事業継続の基礎となる研修会を開催します。法令順守した業務対応により、事業の継続と業務の公正化を図ります。

燃料・ホーム
エネルギー課

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

SS事業を取り巻く環境は、省燃料車の普及により燃料油需要が減退するなど、厳しい環境下に置かれています。

長野県JA-SSでは、事業を継続していくための重要な位置づけとして『ENEOSカード』の発券・推進に

よる顧客の固定化に取り組んでいます。長野県JA-SSが現時点までに発券したENEOSカードの会員数は約

オリジナル特典として、「JA-SS」「配達灯油」「プロパンガス」「JAでんき」のお支払いで、JA-SSで発券されたENEOSカードを年間

5万円以上ご利用いただいた方の中から抽選で1,000名様に、2,000円分のQUOカードを進呈します。

また、2019年に登場した『enkey（エネキー）』（チップが埋め込まれたキーホルダーを画面に近づけるだけで決済が完了する、新決済ツール）は、スピーディーに決済が完了できる利便性により爆発的に普及し、わずか2年足らずで2万2千本もの発行となっています。

SS事業環境は今後も厳しさを増していきますが、お客様に選んでいただけるJA-SSを目指し、引き続きキャッシュレス決済の推進による顧客固定化に取り組んでまいります。

ENEOSカードのご案内

入会するならJA-SSで決まり！
ご入会 & ご利用 どちらも長野県JA-SSが
お得！
ぜひ、持ちたい1枚ですっ！

選べる 3つのENEOSカード

ガソリン・軽油が最大7円/ℓ引き！！
毎日の暮らしで使ってガソリン代をお得に！車を運転することが多くてガソリン代をもっとお得にしたいお客様に。

ガソリン・軽油が最大7円/ℓ引き！！
年1回のカード利用で年会費無料！
お得に気軽にご利用いただけます。

ガソリン・軽油は必ず-2円/ℓ引き！！
年1回のカード利用で年会費無料！
お得に気軽にご利用いただけます。

さらに・・・長野県JAオリジナル特典を
プラス！！

ENEOSカードを1年間で
50,000円以上ご利用された方の中から
抽選で1,000名様に
QUOカード2,000円分を プレゼント！

※長野県JA-SSにてENEOSカードにご入会し、長野県JA-SS、クマアイプロパン、配達灯油、JAでんきのご利用金額が対象になります。
※対象期間は4月～翌年3月の1年間になります。
※抽選は自動で行い、QUOカードの発送は5月頃(予定)、ご本人会員様に直接郵送いたします。
※家族会員様のご利用金額はご本人会員様に加算されます。

JA-SS NAGANO

ENEOSカードには「燃料油の値引き」「ポイント還元」「無料ロードサービス付帯」などのメリットがあります。さらに長野県JA-SSの

JA改革

自己改革工程の進捗状況について

全農長野県本部は、JAおよび子会社とともに、JA自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

Ⅰ.【中期事業計画における基本目標】令和3年3月末時点での総括

その1▶積極的な生産振興に基づく農業生産基盤の維持強化

- (1) マーケットインを起点とした生産振興に向け、品目提案と生産安定技術の産地への推進、規格簡素化等の作業軽減による業務加工需要への対応拡大に取り組ましました。
- (2) 生産安定と収量増を目指した施設化の取り組みをすすめるとともに、JAとの経営規模拡大に向けたスマート農業推進のための情報共有と導入に向けた取り組みをすすめました。

その2▶販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化

- (1) 総合品目による安定供給体制の推進と卸売会社等との連携強化をはかるとともに、新規商品開発や付加価値を高めた商品提案・企画提案による販売拡大に取り組ましました。また、販売力強化に向け、eコマース事業の事業体制確立と拡大に取り組ましました。
- (2) 資材の規格・原材料集約や農家直行配送方式の拡大による配送効率化、および低価格モデル農機の共同購入や農機具域推奨型式の拡大、中古農機流通促進により生産コストの抑制に取り組ましました。

その3▶経済事業拠点の合理的・効率的な運営整備

- (1) 県域物流拠点の補充機能強化およびJA資材店舗・物流拠点の再編整備の提案をすすめました。
- (2) 輸送効率化に向けパレット輸送やモーターシフト輸送の試験を実施し効果の確認に取り組むとともに、輸送効率化に適合した段ボール等資材の検討・試験を引き続き実施しました。

Ⅱ.各事業別 令和3年3月末進捗状況

【生産振興部】		実行具体策	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
1. マーケットインを起点とした生産振興の推進		(1) マーケットニーズに基づく品目提案 (2) 品目の選定と生産安定技術の推進 (3) 多収性と労働生産性向上が望める生産技術の普及推進 (4) 業務加工需要に対応する産地の拡大	(1) 産地推進 (2) 普及 (3) 拡大 (4) 産地と実需者との調整	(1) 果菜類を重点に接ぎ木苗、栽培指導、かん水システム導入により生産拡大を実施。ピーマン実証圃を展開し検証継続をすすめる。 (2) リンゴ高密植わい化栽培推進。継続拡大。 (3) キャベツ、キュウリの取扱増加。水田から高収益化野菜への転換支援をすすめる。

2. 生産安定に向けた施設化の推進

(1) 生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ① 適正な強度を備えたトレリス・平棚・ハウス・実樹多目的ネット等の設計施工と推進 ② 生産安定と収量増を目指した野菜類の施設化推進 ③ 養液栽培などの高度技術の普及推進	① 推進 ② 推進 ③ 推進	① 改良モデル園の設置 ② モデル園の設置実証 ③ ハイブリット方式トレリス（高密植わい化モデル園）2ヶ所設置。更に1ヶ所設置に向け調整。 ④ 空ハウス＋ソーラーパネルソー（渾水システム）による実証実施。成果の情報発信及び現地での活用推進。 ⑤ 養液栽培マニュアルの見直し実施。活用。
--	----------------------	--

3. 経営規模拡大に向けた最先端農業機械の導入推進

(1) スマート農業推進に向けた品目選定と導入目的の選定	試験導入検討	① ドローン取得、実証実演 ② キャベツ収穫機実証コンソーシアム対応 ③ ドローン飛行実証による研修会、散布試験の実施。活用拡大、実用導入に向けた人材育成、運用課題等の整理実施。 ④ リンゴ園での自動草刈機の実証実施。省力化効果が確認され導入がすすんでいる。 ⑤ 作業省力化の効果が確認された。研修会や規模拡大要望経営体への導入支援実施。
------------------------------	--------	---

4. 優良種苗の安定生産推進

(1) 種苗センターにおける優良種苗の安定生産体制の強化	165万本	167万本	供給本数前年比…自根94%、接木根付93%、接ぎ木断根95%、ポット199%。品質・供給安定に向け生産体制を強化する。
------------------------------	-------	-------	---

5. 品目別研修会の計画的開催

(1) 指導者会議専門4ブロック活動との連携	60回	40回	コロナ禍において、屋内での研修会や視察研修会などが制限され開催回数は限られた。感染防止対策に努め屋外活動やWeb活用による技術向上研修に取り組む。 活動レポートの発信継続。
------------------------	-----	-----	---

【生産販売部】

1. 長野米営業力強化		実行具体策	2年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
(1)直接営業による販売比率90%達成 ①実需者への直接営業の拡大 ②重点実需者への複数年契約推進		②2年度 34,000t	2年度 34,769t	2年度78% (実需者が明確になっている契約比率) 目標比102%。 2年度販売促進および3年度以降の事前契約推進を実施する。	コロナ禍のため産地情勢発信・Web商談等を積極的に実施し、重点実需者との連携強化をはかった。引き続きJAと体となった実需者への推進を強化する。

2. 生産者手取りの最大化に向けた販売力の強化

(1)重点実需者への総合品目供給に向けた目標設定と推進	契約取引目標 果実…23%	契約取引 22%	益・お蔵暮ギフト、中秋節・旧正月向け輸出、生協等契約取引への優先的な供給を実施。今年度は、出荷時期、数量、品質に見合った企画修正および提案価格の調整を行う。
	野菜…37%	39%	気象変動に伴う大豊作と契約不履行が交互に発生。Web商談の強化をすすめる。契約取引の考え方と取引条件の付帯条件の整備をすすめる。メディア広告など新たな消費宣伝展開を拡大実施する。
	花き…18%	10%	コロナ禍により冠婚葬祭などの業務需要が減少。品目転換も余儀なくされた。新たな需要喚起対策を継続実施する。
	きのこ…7%	えのきたけ85% ぶなしめじ81%	小売店及び中食への新規契約と既存実需者への事前販売・相対取引を拡大。新規・継続含めた契約的取引の推進を継続する。
(2)商品開発力・提案力の強化による販売拡大 ①加工向け果実の集荷拡大・専用栽培含 ②業務加工用キャベツ拡大 ③量販向けコギフ栽培	②6,800t	7,185t	栽培生産者の増加に伴い栽培講習会も随時開催したが、気象変動により出荷量が伸び悩んだ。引き続き新規栽培者の拡大をすすめる。
	③280万本	206万本	業務用キュウリ新規栽培者12名増。 スイートコーン系統販売新規生産者の獲得による新規契約の開始。 加工業務用壬生菜の現地試験の実施。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取り組み強化

(1)実需者や卸売会社との情報連携による新規品目や生産拡大の取り組み実施 ①果実・新品種(シナノリップ他) ②野菜・業務キュウリ拡大他 ③花き・業務用トルコギキョウ他 ④きのこ・商品企画提案、業務・加工需要供給ルート開発の実施 ⑤営業課…新規品目・商品企画提案、供給ルート開発の実施	①果実2件	2件	機能性表示食品「毎日ブレイブ」新規販売9月、目標10,000パック販売達成。今年度はフイールージュ本格出荷開始にあたって、重点的に営業推進・PRを展開する。
	②野菜2件	3件	業務用キュウリ新規栽培者12名増。 スイートコーン系統販売新規生産者の獲得による新規契約の開始。 加工業務用壬生菜の現地試験の実施。
	③花き2件	2件	業務用トルコギキョウは気象変動により安定出荷が課題。新規量販店との連携販売を実施。引き続き連携の模索に取り組む。
	④きのこ3件	11件	機能性表示食品新規販売6件、業務加工新規3件、県内量販店新規供給1件、ぶなしめじ輸出・東南アジア・米国向け1件。 新規取引先への営業推進強化、既存取引先との連携により目標を上回る拡大ができた。継続して新規取引の開拓と新規品目・規格等の提案および既存取引の営業推進強化をすすめる。
⑤営業課2件	計25件	新規取引9件、 新規品目・エリア拡大10件、 商流変更6件、 合計25件	排水対策関連機械については実証試験を踏まえた提案活動を継続し、貸出促進をはかる。カットドレン・貸出・カットブレイカー導入検討

5. 重点購買による農機県域推奨型式の機種拡大

(1)県域推奨機種の型式追加設定	累計7型式	累計7型式	J A職員参加による選定委員会にてバッテリー動噴1型式を追加設定、3月より取扱い開始。
------------------	-------	-------	---

6. 農機共同利用形態の活用促進

(1)県域レンタル農機の稼働日数拡大	50日	31日	排水対策関連機械については実証試験を踏まえた提案活動を継続し、貸出促進をはかる。カットドレン・貸出・カットブレイカー導入検討
--------------------	-----	-----	--

7. 中古農機の流通促進

(1)中古農機情報サイトによる流通促進	成約35台	成約22台	中古機の玉確保策として、中古機民間業者との契約締結・買取検討を継続実施する。
(2)「不用農機査定買取」取組J Aの拡大	4J A実施	4J A実施	協同経営J A・北信地区にて実施。他J Aへの水平展開に向け、継続推進を行う。

【畜産酪農部】

実行員体系	2年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
-------	-------	------	--------------

1. 生産基盤の維持確保

(1)生乳出荷量、酪農家戸数の維持確保	85,500t (260戸)	86,070t (261戸)	乳量は前年対比9%、計画は上回ったが農家件数は減少、各事業の活用で乳量維持を目指す。
(2)性別別精液普及	2,000本	1,958本	計画をやや下回った。次年度も継続して推進強化をはかる。

2. 信州産ブランドの確立

(1)信州プレミアム牛肉の生産販売	2,150頭	2,528頭	品質向上とコロナ禍による集荷販売頭数の一時的な増加から、計画を上回る結果となった。有利販売実践により頭数確保をはかる。
(2)銘柄豚の特色ある販売方式の拡大	10銘柄継続	10銘柄継続	取引先との連携強化をはかり、次年度取引に向けた協議をすすめる。

3. 県本部生産農場の機能発揮

(1)素子豚供給頭数（SPF豚繁殖センター）	22,500頭	23,007頭	多産系母豚の生産性向上および生産管理技術の向上により、計画を上回る結果となった。
(2)預託牛事業拡大による農家経営支援（三岳牧場）	390頭	356頭	預託牛牛減少により計画未達となった。関係J Aとの連携・牧場の機能強化をはかる。
(3)生乳出荷量の確保（ハケ岳牧場）	1,850t	1,726t	計画には未達であったが、搾乳頭数の増加と1頭乳量の増。次年度は飼養管理の検討と改善を行う。

4. 集出荷機能の強化と広域的利用体制の確立

(1)J Aとの連携・共同による広域集出荷拠点の整備とバラ集荷・買取集荷の実施	実施と検証	アスパラガス	選荷、計量、結束、作業試験の実施。次年度に向けて具体的な取組検討と販売対策をすすめる。
---	-------	--------	---

5. 広域的な視点からの集出荷・輸送・荷降の効率化

(1)パレット輸送試験の実施による効果検証	11型パレット使用J A品目の拡大	きのこ…J R貨物活用拡大	大阪南港・新門司港間でコスト項目測定とともに実施し、保鲜効果が確認できた。導入は可能と判断できるため、本県の九州輸送モデルとして策定をすすめる。
	大	2件 （九州・北海道定期便活用）	中国国便は既存トラック輸送との調整難、九州地区輸送数量減少時は通常トラック便による対応にて調整。

6. 輸送効率化のためのパレット輸送、出荷資材統一の取り組み

(1)類似規格の集約化、材質・才数の変更提案	3品目	6品目	えのきたけ生産者のパレット積み集荷から消費地ストックポイントまでの買使用試験を実施。 集荷場の荷受けと保管、荷積み、荷降ろし時間の削減効果を実証した。 パレットの導入方法について検討をすすめる。
------------------------	-----	-----	---

【生産購買部】

1. 段ボール規格集約による価格値下げ

実行員体系	2年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
-------	-------	------	--------------

2. 段ボール適正包装の提案推進

(1)ショートフラップ化の品目拡大、撥水原紙の見直しによる過剰包装の見直し	10規格	25規格	ショートフラップ化（空空き幅の拡大含む）9規格 撥水原紙から切替え実施16規格
---------------------------------------	------	------	--

3. 低コスト・省力資材の開発、実証、普及

(1)より安価なB B原料への切り替え拡大	3銘柄	2銘柄	2銘柄切替え済。切替設計の作成と試験提案を行いすすめる。
(2)農業担い手直送規格の普及面積拡大	2,200ha	3,443ha	新規品目数増加による拡大。大口農家中心に担い手直送規格の提案と更なる誘導をすすめる。

4. 担い手への提案型推進の強化

(1)担い手への「わたしの肥料」提案推進	3,800t	4,380t	畑作地帯での新規推進に取り組む。
(2)農家直行配送の拡大推進	①2,630t ②200戸	①2,672t ②189戸	①新規農家の拡大による。 ②要領と実態の整合性を検討する。

【生活部】

1. 農業生産用燃料支援対策の実施

実行員体系	2年度計画	進捗状況	達成度合いと今後のすめ方
-------	-------	------	--------------

(1)軽油・灯油・重油の配達供給	17,000kℓ	16,125kℓ	J A・県本部体となった担い手農家支援として軽油支援対策を4、11月と3月、灯油・重油支援対策を10、3月に実施したが、コロナ禍や気温高の影響により計画未達となった。支援対策は軽油・灯油・重油ともに5月まで延長して実施する。
------------------	----------	----------	--

2. J AのLPGガス小売事業強化

(1)新規顧客獲得による供給戸数確保	118,400戸	120,057戸	新規顧客獲得や器具キャンペーン等により顧客囲い込みをすすめた結果、計画を達成した。今後もJ A営業体制強化に向けた取り組みを継続し、供給戸数確保に努める。
--------------------	----------	----------	---

3. 電力小売推進体制の強化

(1)組合員向けの電力供給開始に向けた取り組み促進	低電圧供給 県下2,000戸	低電圧供給 県下624戸	2J AでJ Aでんきの取扱いと組合員推進を開始したが、コロナ禍による組合員との接点不足により計画未達となった。今後は、PR・諸施設活用の徹底等による組合員推進の強化と取扱J Aの拡大をはかる。
---------------------------	-------------------	-----------------	---

4. J A自動車事業の収支改善

(1)取扱台数の拡大	2,850台	2,600台	コロナ禍の影響により営業活動が制限されるなど販売環境は厳しく台数が落ち込んだ。今後は第2の営業車を目標して取扱いを始めた「J Aキャリア」の拡販を強化し台数確保に努める。
------------	--------	--------	---

5. 生活事業取扱強化

(1)推進体制強化による宅配おまかせ会員を主とした戸数の維持	おまかせ会員 6,000戸 新規会員 1,000戸	おまかせ会員 5,508戸 新規会員 610戸	顧客リストを活用した推進、J A広報誌や新聞への事業案内・広告掲載により新規獲得に取り組んだ。今後キャンペーンの活用や新たに資材の作成によるPRをし、戸数確保に努める。
(2)虹のホールグループセレモニー施行件数とシェアの確保	9,250件 （シェア34%）	8,358件 （シェア33%）	コロナ禍対策を実施するなかで施行件数の確保に努めた。引き続きネット広告の充実等PRを強化し、件数・シェア確保をはかる。
(3)J Aとの連携強化による家庭薬新規戸数拡大	500戸	99戸	新規配置キャンペーンにより戸数獲得に努めたが、コロナ禍による訪問推進の自粛もあり、新規戸数獲得は厳しい結果となった。今後もJ Aと連携したPR活動を行い、戸数確保に取り組む。

畜産課

京都食肉市場(株)にて「第33回信州和牛枝肉共励会」開催 最優秀賞にJAみなみ信州の吉川俊男さん

JA全農長野は4月19日(月)、京都食肉市場(株)で「第33回信州和牛枝肉共励会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い京都府では「まん延防止等重点措置」が講じられる中、県内各地から選りすぐりの信州和牛39頭が上場され、セリ販売に先立ち行われた枝肉審査で、JAみなみ信州の吉川俊男さんの去勢牛が最優秀賞に選ばれました。この入賞牛はコース芯面積97㎡、霜降り度合い

を示すBMSは最高値のNo.12で、京都食肉市場が独自に定める「京都食肉市場特選牛」に認定され、さらにオレイン酸値が56.2%で長野県知事が認定する「信州プレミアム牛肉」にも認定されました。

京都食肉市場の購買者には小売店や専門店が多く、品質の良い枝肉は需要が高く、購買層もいたため、注目の集まる最優秀賞となりました。

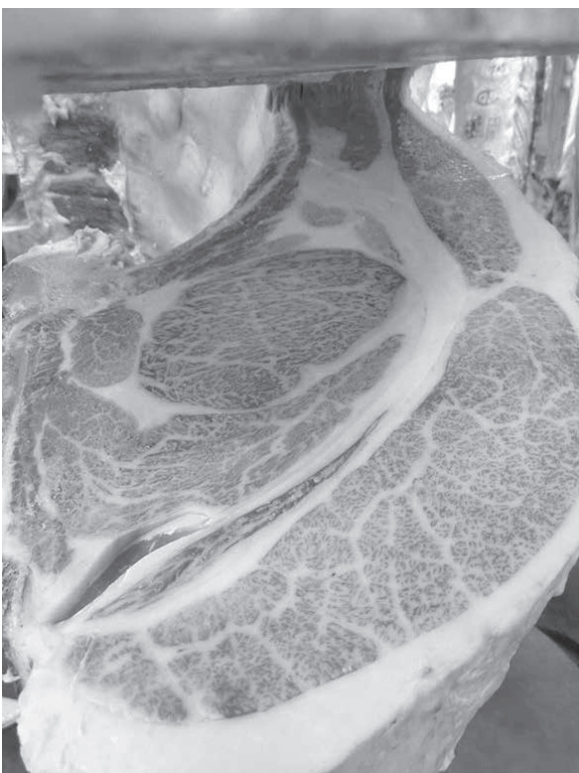
セリでは枝肉の評価を反映し、3、

970円/kgで落札され、岡山市の(株)一富士本店様が購買されました。

上場した39頭中36頭が信州プレミアム牛肉に認定され、入賞牛の5頭全てがBMS No.12で「京都食肉市場特選牛」に認定されるともレベルの高い共励会となりました。

畜産課は、今後もこのような共励会をとおして「信州和牛」「信州プレミアム牛肉」及び「信州アルプス牛」の認知度向上と、長野県内を中心に牛肉

の消費拡大に向けた販売促進に取り組んでまいります。



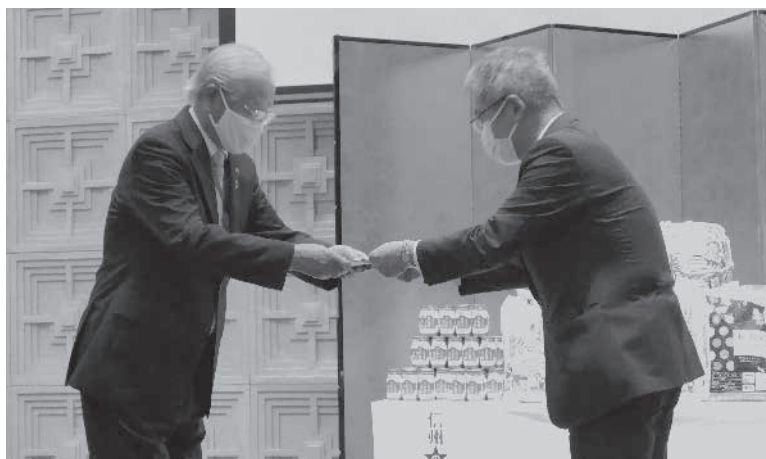
入賞者一覧(敬称略)

賞	JA名	生産者	品種・性別
最優秀賞	みなみ信州	吉川 俊男	黒毛和種・去勢
優秀賞	ながの	(農)美雪ファーム樋口	黒毛和種・去勢
〃	松本ハイランド	(有)アグリランド松本	黒毛和種・去勢
優良賞	松本ハイランド	(有)高原牧場	黒毛和種・去勢
〃	大北	山口 年春	黒毛和種・去勢

県スポーツ協会に コシヒカリなどを寄贈

JA全農長野は、県内スポーツの強化を目的に、「たくましい選手が育つように」との願いを込め、長野県産米「コシヒカリ」などを(公財)長野県スポーツ協会に寄贈しました(Ⅱ表紙左下)。この取り組みは1999年から始め、

今年で23回目です。県産「コシヒカリ」3トン、「信州まるごとりんごジュース(160g)」3千本、「ふるさとのなめ茸(200g)」1500本は、県スポーツ協会をとおして、全国大会をはじめ各種大会で活躍している県内のスポーツ団体に届けられます。



林理事長(左)に目録を手渡す岡村副本部長(右)

4月22日(木)の寄贈式で、全農長野の岡村達雄副本部長は「貴協会の選手が活躍することとは、県民にとって勇気付けられると共に喜びです。今後の活躍も期待します」と目録を手渡すと、県スポーツ協会の林泰章理事長は「思うように練習・大会ができない中で、選手は健闘しました。これからも各種大会が開かれることを確信し、前向きに練習に取り組めます。毎年の贈り物は選手にとって楽しみであり、代表してお礼を申し上げます」と感謝しました。

サッカー大会で長野米をPR

JA全農長野米穀課は、5月9日(日)に松本市で開催された「第20回チラブルトカップ長野県少年サッカー大会」に協賛し、副賞などを提供しました。

次世代を担う子ども達に長野米のおいしさをPRすることを目的に、上位4チームの選手全員に副賞として「長野県産コシヒカリ5kg」を贈り、出場選手全員に県農政部農地整備課が作成した「長野県産米づくりすごろく」を配布しました。

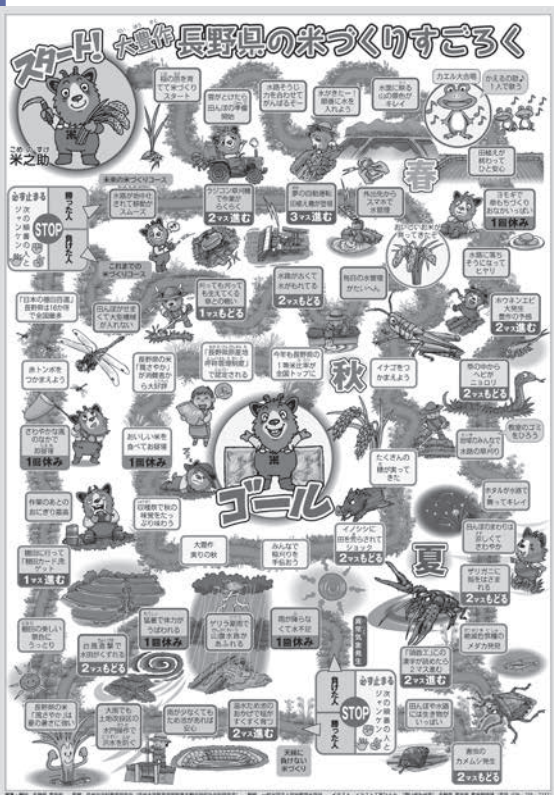
度の解説、今後の担い手になりうる子ども達へのメッセージが込められています。



優勝した松本山雅FC U-12

「長野県産米づくりすごろく」は、中山間地が多く、広い水田や用水の確保が難しい環境

にありながら、全国トップクラスの単位収量・一等米比率を誇る長野県産米の稲作について、ゲーム形式で楽しく学べるように構成されています。スマート農業や棚田オーナー制



米穀課

米穀課

新採用職員紹介

令和3年度の新採用職員18名を順次ご紹介します

【生産販売部 米穀課 阿部 真己】

はじめまして、生産販売部米穀課の阿部真己です。出身は、長野県立科町です。大学は大阪の大学に進学し4年間を関西で過ごしました。観光を兼ねて京都の神社仏閣を訪れる機会が多く御朱印巡りをする事が趣味になり、時間があれば各地の神社仏閣を訪れています。

就職を機に長野へ戻り入会致しました。恥ずかしながら農業についての知識は乏しく毎日が驚きと発見の連続です。今後、多くの知識を吸収しながら生産者と消費者との繋がりを大切に同じ目線で物事を考え、携わる全ての人に感謝し、JAや組合員のお力になれるよう尽力してまいりますので宜しくお願いいたします。



長野米を
食べて
育ちました！

【生産販売部 野菜花き課 呉羽 駿】

4月23日（金）晴れ。入会して23日が経過しました。仕事は嫌なものだと思っていましたが、部署が花関係で、ほかの職員の方々も温かく優しい方しかおらず、不満が出ない今日この頃です。花関係ということもあり、最近道端の花を少しいただいて、家でかくまったり、頂いた花を生けたり、花のある生活を送っています。蕾から花に変わる瞬間は、どんな花も感動を覚えます。私もその一輪になれるよう、謹んで取組んで参りたいと思います。



蝶のように
舞い、
蜂のように
刺す！

【生産販売部 果実課 中野 里菜】

はじめまして。果実課の中野里菜と申します。出身は松本市波田で実家はスイカ農家をしています。趣味は海外旅行です。現在コロナ禍で渡航はできていませんが、大学時代は7か国を旅し、多様な文化を肌で感じてきました。また、食べることが大好きで自然の恵み豊かな長野県で育ったことは私の誇りです。

入会し毎日が勉強ですが、少しでも早く組合員の皆様と長野県農業の力となれるよう精進して参ります。皆様、何卒よろしくお願い致します。



青い空、
温かい土に
癒されます！

【生産販売部 きのか課 原 晃二郎】

はじめまして。きのか課の原晃二郎と申します。

出身は長野市です。食べることとラジオが趣味なのですが、健康診断で、コレステロールの値が大幅に基準を超えており衝撃を受けました。

健康的な社会人になれるよう、長野県の食材と自然で節制していきたいと思ひます。

仕事を通じ、長野県の農業の発展に少しでも貢献できるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願い致します。



きのか、
けっこう
好きです！

野菜出荷スタートキャンペーン
「信州やさいめし」実施中

JA全農長野野菜花き課は5月10日（月）より、野菜出荷スタートキャンペーンを実施しています。今年度は、本県産野菜を使用した見た目が華やかで写真映えるレシピを主役にしました。キャンペーンのタイトルである「ひとりで完結！信州やさいめし」は、「野菜」＋「たんぱく質」＋「炭水化物」による一皿でバランスの取れたレシピを指しており、本県産野菜をより多く食べてもらえるように訴求していきます。

さらに、今年度は出荷スタートキャンペーンと同時に投稿キャンペーン「ベジフォトコンテスト」を実施しています。これは、インスタグラムの野菜公式アカウントに「#ベジフォト」をつけて本県産野菜を使った料理の写真を投稿していただくコンテストです。入賞者には、人気の調理器具やキューピー商品セット、野菜セットを贈ります。



す。本県産野菜を使った料理を応募、あるいは見えていただくことで、より多くの消費者の購入意欲を高めることができます。今年度は、2つのキャンペーンを連動させながら、本県産野菜の認知度向上と消費拡大につなげてまいります。

レタスとアスパラのカルボナーラ

材料(2人分)

レタス.....6枚	生クリーム.....100ml	オリーブ油.....大さじ2	粉チーズ.....適量
アスパラガス.....2本	卵.....2個	パスタ.....100g	黒胡椒.....適量
ベーコン.....40g	粉チーズ.....大さじ4	塩.....少々	

作り方

- ①レタスは大きめの1口大、アスパラガスは厚さ7~8mmの斜め切り、ベーコンは1cm幅に切ります。
- ②卵、生クリーム、粉チーズ、塩を合わせソースを作ります。
- ③パスタは茹で入れた熱湯で、袋の表示時間通り茹で、アスパラガスはパスタの茹で上がり1分前に加えます。
- ④オリーブ油でベーコンを炒め、レタスを加え軽く火が通ったら火を消し、②、③の順に加え早く混ぜながら全体にソースを絡め、塩で味を整えて器に盛り、黒胡椒、粉チーズをかけます。

レタスとサラダチキンのレモンクリームサラダ

材料(2人分)

レタス.....2枚	マヨネーズ.....大さじ3
サニーレタス.....2枚	生クリーム.....大さじ1
サラダチキン.....50g	レモン汁.....大さじ1 A
レモン.....お好み	はちみつ.....小さじ2
	塩.....少々

作り方

- ①レタス、サニーレタスは1口大に切り、サラダチキンは刻いて和えます。
- ②②を皿に盛り、合わせたAをかけます。
- ※お好みでレモンの薄切りを散らします

レタスとアスパラのカルボナーラ

材料(2人分)

レタス.....2枚	マヨネーズ.....大さじ3
サニーレタス.....2枚	生クリーム.....大さじ1
サラダチキン.....50g	レモン汁.....大さじ1 A
レモン.....お好み	はちみつ.....小さじ2
	塩.....少々

作り方

- ①レタス、サニーレタスは1口大に切り、サラダチキンは刻いて和えます。
- ②②を皿に盛り、合わせたAをかけます。
- ※お好みでレモンの薄切りを散らします

信州やさいめし

出荷スタートキャンペーン

第1弾

信州 光と風と水のハーモニー JA全農長野

合言葉に答えて「信州のおいしい」を当てよう

おいしい野菜はJA全農○野

10名様 信州SPF豚ロースしゃぶしゃぶ用(300g×2)

20名様 信州野菜セット

70名様 オリジナルQUOカード 500円分

※各賞の当選はすべてイメージです

信州やさいめしレシピはキャンペーンHP上

信州やさいめしキャンペーン

検索

やさいフォトコンテストも開催中!!

JA全農長野の事業現況▶

令和3年度4月末部門別実績表 (単位: 百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
野菜種苗センター		42	118	115
生産振興部計		42	118	115
米	穀	1,309	103	74
果	実	55	142	128
野菜花き		886	114	135
きのこ		1,246	86	76
営業		335	89	88
生産販売部計		3,831	98	85
包装資材		413	77	100
生産資材		1,599	112	92
農業機械		829	155	96
施設住宅		720	743	317
生産購買部計		3,562	137	110
畜産		1,466	118	138
三岳牧場		19	80	72
SPF繁殖センター		25	99	94
酪農		1,169	111	112
八ヶ岳牧場		17	99	103
畜産酪農部計		2,696	114	124
燃料・ホームエネルギー		2,260	131	129
S S 協同経営		601	116	95
生活		759	108	101
生活部計		3,620	123	115
長野県本部計		13,751	116	105

(内部販売高含む)

6月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
6/23(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	野菜花き課

グリーンレーダーの
ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar

緑が眩しく、心地よい風が吹き抜けるさわやかな季節を迎えました。新年度がスタートして2か月が過ぎ、それぞれ新しい環境に慣れてきた頃かと思えます。新型コロナウイルス感染症については、治まるどころか再び猛威をふるい、第4波が到来しています。4都府県に発出された緊急事態宣言は、5月末まで延長され新たに2県が追加となりました。

まだまだ我慢の日々は続きますが、ワクチンが行き渡るまでは地道な感染対策を続けるしかありません。ウイルスが変異しても感染の経路は同じです。飛沫を浴びない、飛ばさない、換気の悪い場所を避け、マスク着用、手洗いの実施など基本の徹底を行いながらトンネルの先に見えてきた明かりに向けて油断せずに進んでいきたいと思えます。

さて、先日われらが松山山雅FCのホームゲームS.C.相模原戦の応援に感染対策をしっかりとしながら行ってまいりました。2連勝後の大事な試合で雨の中でありましたが、結果は2-1でなんとか逃げ切りしました。今後のチームの活躍に期待したいと思います。J1行くぞ山雅！頼むぞ山雅！(丁)

今月のおすすめレシピ
セルリーと鶏の
カオマンガイ風

■材料(2人前)

鶏もも肉.....1枚(約250g) レタス類.....3枚
おろしにんにく.....小さじ1/2 トマト.....1/2個
セルリー.....60g 紫玉ねぎ.....1/8個
(A) 塩.....小さじ1/2 (セルリーソース)
酒.....大さじ1 セルリー.....40g
米.....1合 水.....大さじ2
(B) 水.....200ml ナンプラー.....大さじ1
鶏ガラスープの素.....小さじ1 砂糖.....小さじ1
ナンプラー.....小さじ1/2 レモン汁.....小さじ1
おろし生姜.....小さじ1/2 サラダ油.....小さじ1
セルリーの葉.....適量

■作り方

①鶏もも肉にフォークで数箇所穴をあけ、混ぜておいた(A)を揉み込み、洗い米に(B)を加え、鶏肉、薄切りにしたセルリーをのせて炊飯器で炊きます。(白米の炊飯と同様の時間で)

②(セルリーソース)セルリーは粗みじん切りにし、サラダ油で炒め、残りの調味料全てを加え、ひと煮立ちしたら火を消します。

③①が炊き上がったら鶏肉を取り出しスライスします。

④皿にご飯を盛り、③をのせて②のソースをかけます。一口大にちぎったレタス類、セルリーの葉、トマト、紫玉ねぎのスライスを添えます。

※お好みでスイートチリソースも添えて。

昭和52年6月10日 経 済 運 情 報

事業の概要について

昭和五十一年度 事業報告

「石油危機とそれとに続いて起った不況、インフレによって大きな打撃を受けたわが国の農業は、五十一年度になつてようやく立直りの気配をみせました。しかし、五十一年度後半から農産物の市場価格の暴落は五十一年度と比べ、生産資材の価格の上昇は農産物価格の上昇を上回る勢いで進んでおり、わが国の農業は新たな試練に直面しております。

一方、国際的な農産物の需給は、ソ連の大きな穀物の買付け、あるいは異常気象により依然不安定な状態にあります。それに伴って穀物や大豆の国際価格は、秋盛として不安定であり長期的にみても人口増加、飼料用穀物の需要の増加など世界の農産物需給は楽観を許さない状況にあります。

以上のような内外の情勢のなかで、わが国の食糧自給率は昨年度より上回ったとはいえ、食糧需給水

情報を正確かつ迅速に会員の皆様へ提供し、有利販売に効果をあげることができました。

四十年の通商組合において、八ヶ岳牧場の業務の円滑な運営と経営の安定をはかるため、牧場業務を委託するための会社を設立し、出資を行うことを決定しました。

しかし、諸般の情勢より会社設立を見合せることになりました。

このこと従来より本会の直轄生産部門として充てはかり、組合員に対し優良乳牛、肉牛の初妊牛を供給しつづけている所存です。

また、株式会社長野県食肉センターの株式取得についても、昨年度の株式会社長野県食肉センターの通商組合において決まりましたが、会員より受け入れることになりました。

七六四万円については、諸般の状況より繰上りを見合わせることにしました。

事業取扱高は、二九三億円で計画対比一〇〇%、販売事業が二二〇億円で計画対比一二五%となりました。

総取扱高は、三三〇億円を超え、昨年度に対して約三七億円の増加となりました。しかし、事業を進めるにあたっては、農業を守り発展させる立場から、会員の経営の安定、組合員の生活の安定を使命と考へて行つてまいりました。

その結果、剰余金は六億七千万円あまりとなりました。特別配当は四億三千万円を行つて、残りは四億三千万円を積み立てました。

増大する経営規模に対し自己資本は不足のため、昨年度と同様に、同様の増資を行いましたが、これに対して会員の皆様のご理解と協力に対し厚く感謝申し上げます。

以上この一年の事業の概要を述べましたが、このことは会員と事業活動が結果した成果であると考へ、このことは会員の事業の発展のため、一層努力してまいりたいと思ひます。

▲S52.6.10発行

米の消費拡大を進めよう！
選びぬかれた自然の味
「パールライス」の
デザインが変り美しくなりました。

農協のお米パールライス

農協・経済連・全農

▶次号は、事業取扱高が5,000億円を突破した昭和61年度(1986年度)の取扱実績、同年のパリ国際見本市への出展、経済連と養連の合併報告会について掲載します。

昭和52年6月10日 経 済 運 情 報

51年度部門別取扱実績

331,707百万円
前年度実績対比 113%
(構成比 100%)

米穀指導 65,451 (20%)
米穀部 71,008 (21%)
畜産部 50,310 (15%)
畜産 17,074 (5%)
加工輸出 6,618 (2%)
園芸資材 7,413 (2%)
園芸 121,065 (36%)
果実 39,063 (12%)
そ 菜 67,967 (20%)
食糧配給 5,558 (1%)
牧 場 129 (0%)
燃料 19,360 (6%)
生活 19,360 (6%)
生活資材部 50,449 (15%)
生活資材 12,232 (4%)
生産資材部 38,746 (12%)
生産資材 13,922 (4%)
肥料農薬 13,922 (4%)
農業機械 13,487 (4%)
施設資材 11,337 (4%)
店舗用品 23,563 (7%)
生活用品 7,425 (2%)

単位は百万円
注: %は前年度実績対比(内)は構成比率

昭和52年6月10日 経 済 運 情 報

51年度支所別 部門別実績と前年度実績

小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属：相澤病院（松本市）



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

